

マテリアリティ

Data Security データセキュリティの強化



目標	2022年度の進捗	2023年度の取組み/今後の施策案等
<ul style="list-style-type: none"> ITセキュリティ・アーキテクチャの強化 ITセキュリティ意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> サイバーセキュリティ対策の運用を継続 定期的なセキュリティ・アセスメントを立案・実施 データセンター/サーバー/ネットワーク等のリスク低減策を継続 従業員教育の実施(なりすましメール対応訓練、情報セキュリティに関する学習を年にそれぞれ3回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> サイバーセキュリティ対策の運用を継続 定期的なセキュリティ・アセスメントを立案・実施 データセンター/サーバー/ネットワーク等のリスク低減策を継続 従業員教育の実施(なりすましメール対応訓練、情報セキュリティに関する学習を年にそれぞれ4回実施)

Diversity and Equal Opportunity ダイバーシティと機会均等の推進



目標	2022年度の進捗	2023年度の取組み/今後の施策案等
<ul style="list-style-type: none"> 管理層への昇進における機会均等の促進 マイノリティグループからの採用の推進 人権・機会均等に関する従業員教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体女性管理職比率:34.3% 人権、機会均等に関するeラーニングを全世界の従業員に実施 	<ul style="list-style-type: none"> KWEグループダイバーシティと機会均等に関する基本方針の制定 各地域の状況に応じた施策の推進

Social Impacts in the Supply Chain 責任ある調達



目標	2022年度の進捗	2023年度の取組み/今後の施策案等
<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンにおいて倫理的、社会的、環境的責任を果たす 	<ul style="list-style-type: none"> 調達におけるアセスメントを実施し、重要項目を特定(安全衛生、労働、ベンダー管理、環境コンプライアンス) 安全衛生に関するチェックリストを作成(7つの分野、37項目) 	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生に関するチェックリストをサプライヤーへ周知し、調査を実施 サプライヤー管理に関する制度の確立

Social Impacts in the Supply Chain

Concept & Policy

KWE供給者行動規範

国内外の様々なサプライヤーの皆様とともに協働するKWEグループは、2020年1月、全てのサプライヤーの皆様を求める行動原則をサステナビリティの視点からまとめ、「KWE供給者行動規範」として策定しました。

—概要—

- | | | |
|-------------|---|---------------------------------|
| <p>■ 方針</p> | <p>■ 一般条項および行動基準
「7つの柱」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法令遵守 2. 商慣行 3. 倫理原則および利益相反 4. 安全衛生 5. 労働 6. 供給者管理 7. 環境法令の遵守 | <p>■ 違反した場合
■ 倫理に関する報告先</p> |
|-------------|---|---------------------------------|

—要求事項—

1. 労働環境
2. 機械設備（フォークリフト、マテハン設備）
3. 緊急時対応計画
4. 個人用防護具
5. 貨物配置
6. 労働条件
7. その他

KWE供給者行動規範 全文 ▼

<https://www.kwe.com/jp/about/whoweare/policy/vendor-code-of-conduct/>

Progress

マテリアリティ「Social Impacts in the Supply Chain」において、当社グループは、KWE社内やサプライチェーン全体における社会的、環境的、倫理的責任の遂行状況を継続的に改善するべく、社内外のベストプラクティスを共有し、各拠点・サプライヤーへ適用していくことを基本方針としています。

その核となる「KWE供給者行動規範」について、2020年～2021年は国内外サプライヤーに周知を図ったほか、2021年～2022年にかけては、同規範の7つの柱の中でステークホルダーの関心が高くかつ最もクリティカルな「安全衛生」、特に「倉庫作業における安全衛生」を最優先の取組み課題とし、サプライヤー各社の労働環境について7項目の「要求事項」を策定しました。これを受けて2023年は、「KWEグループ労働安全衛生管理規程」に連動した「サプライヤー安全衛生統一基準」の策定を進めているほか、2024年にはサプライヤー・アセスメントの実施を予定しています。

また、当社グループは、こうしたサプライヤーの皆様との協働や価値協創をさらに強化するべく、足元で様々な取組みを拡充しています。

まず国内物流業界における「2024年問題」については、航空貨物の取扱いにおいて取引先車両の空港待機時間を減らす取組みやサプライヤー訪問によるコンプライアンス体制確認を進めているほか、近鉄ロジスティクス・システムズのトラック輸送事業においては、原価計算からの適切な運賃作業費の提示や付帯作業対価の授受に取り組んでいます。

また現在、当社グループがサプライヤーを含む全てのステークホルダーの人権を尊重することを明文化した「人権方針」の策定を進めており、2023年度中に公開予定です。当社は今後も、マテリアリティ「Social Impacts in the Supply Chain」におけるこれら一連の取組みを、持続的な成長と企業価値向上につなげていきます。